

明治三十九年より四十年



赤坂裏二丁目十五山田方

林曾登吉



八木憲一
南省吾
菱田厚介

海田島台

生時	熱	脈	日	日	青山墓地 二十七日午後 可出棺
2820.0	36.5	132	10	17	
2876.0	36.9	132	4	23	
2810.0	36.6	136	4	26	
2835.0	37.1	138	4	32	
2896.0	37.1	176	11	5	

明治三十九年十月十八日

胎児の出生経過

午後十一時少産ノ血液ヲ腹又

十一時廿五分産作 二十秒間歇六分

同時心音 十六、十七、十八

●四十五分石膜破裂ノ行ニ向中量ニ進又

●十二時五分産作 五秒間歇 二分三十秒

●十二時二十分産作 一分間歇 二分三十秒

●十二時二十分産作 五分間歇 二分三十秒

●十二時二十五分産作 一分二十秒間歇 五分

●十二時三十分産作

●十二時四十分産作 十二分

●十二時四十分産露次、胎児全ク娩出ス。

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

●胎児全ク上腿ノ右内側ニ向テ頭背并ニ左右肩

胎盤六前六時休強33呼20缺件
 卵膜ハ厚サ約三通帯ニテ裂孔ハ太キク正
 形ニテ中央ヨリ四珠起リ大ヤクニ殆ト完全
 ニ近シ厚膜ハ已ニ剥離セリ厚サ普通帯
 ナク胎帶附着部ヨリ約十八仙起リ功米粒
 可リ稍々大ニ崩脆ヲ認ム
 (母体面) 其形状ハ内形ニ近シ直徑17.6厚二
 仙迷分系ハ大ニ著明ナク側方ニ示指
 頭大ノ組織ノ欠損ヲ認む石灰ノ沈着ハ
 ナク纖維ノ発生ニ著シ(胎児面) 血管
 細クシテ努張セズ
 (胎児側方) 附着レ長五十三仙迷厚サ和
 左ニテア胎帯ナクシテ氏膠様質發育佳
 長ナラス
 聖体量
 検温
 31.2
 38.67
 35
 95
 月 17-2820.
 18-2765
 19-2670.

外国勲章佩用願 用紙白美濃
 今般土耳其皇帝陛下ヨリ受領セテ
 三等勲章賜与有候此村受領及
 佩用ノ儀御免許被下方別紙供圖物件
 目録ニ添へ此如申付申上
 明治 年 月 日
 官位勲加官爵氏名印
 讀點有給式大給恒殿
 (子爵)
 供圖物件目録
 一勲章
 一勲記
 一勲記器(英文)方
 一勲記譯文(日本文) 通
 右佩用免許書原銀ハ白差出也
 明治 年 月 日
 官位 氏名了ト



幅五寸八分長一尺五寸高八分
厚形約六分一

退學職
何學科 科長學生
姓名
右者今般病矣之善純學教難候
乃涉此書凍退學仕度保人連
署七以之比所為此也

年月日

現備勇

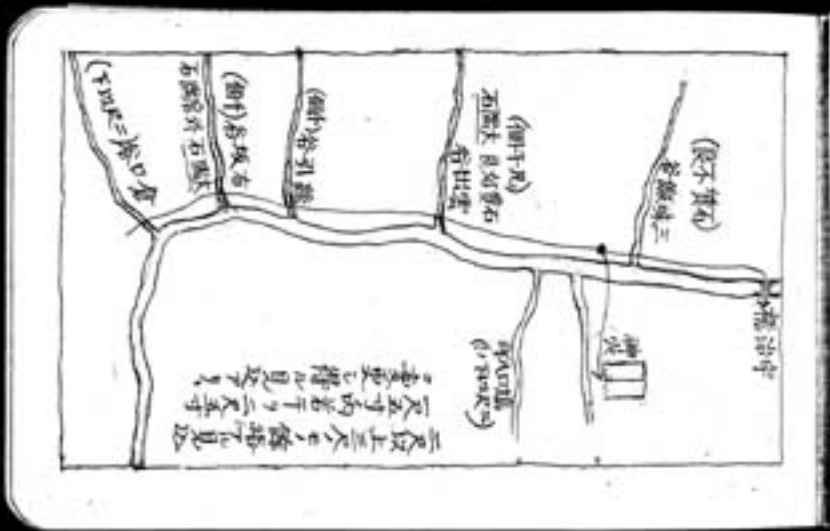
姓名印

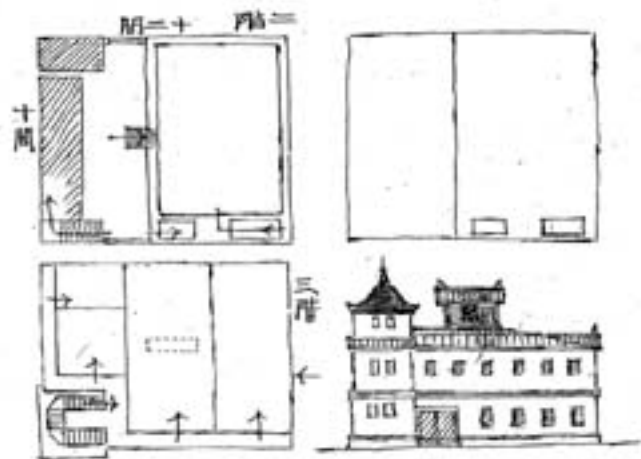
保人

姓名印

三十九年 月 日

退學大學長醫學博士青嵐通殿





二十万石、山田寺、比叡附送

景石ノ配置ニ関シ木村市川氏等ニ
詳細通知スレド
苗田氏事情アリテ茅ノ交渉不可能ニ付キ
可成差ハ龍圖ニ出張ビ一められ度シ
聖達ハ茅ノ大ニ揚屋ガマシ



By the subtraction of 73 from
 the Christian year.
 Consult Sewall & Kikohi,
 The Indian Calendar.
 (London, 1876).

古 宇 田 氏	大 澤 氏	三 橋 氏	樋 富 券 金
一 円	一 円	一 円	

古 宇 田 氏	大 澤 氏	三 橋 氏	妻 木 氏	荒 屋 氏 募 集 金
一 円	一 円	一 円	一 円	

15
15
75
15
225



25
25
125
50
625



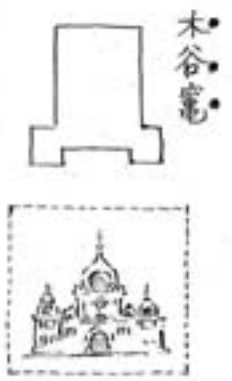
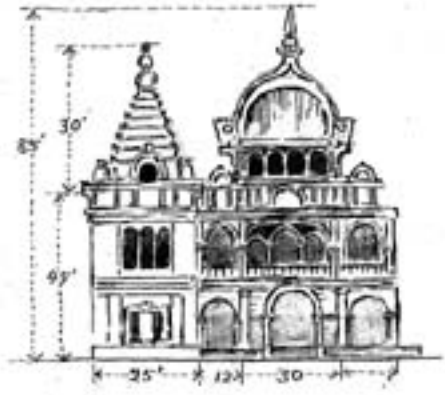
1306
666
$640 \times 15^2 =$
$230 \times 15^2 =$



総画館	
5000	一七〇〇円
4800	
3000	
2000	
1000	
15000	3500+1500
	2000
記念塔	
1000	二五〇〇
7000	
3000	
2500	2500+2500
	4000
plan	
1500	
1500	
3000	2100+900
	5500
Garden	
1000	
7000	
5000	
2300	

●能登
五十萬 坪六四
昇り窓ヲ用フレバ一回ニ数千枚ヲ焼キ得
ヘキヲ以テ設備費ヨリ多ク且テ受スルカ故
ニ不利益ナリ且ツ瓦ノ色ニ變化セラル。

●瓦窓
一形内形
一太り内法九尺四方 大谷
一買数八百枚乃至千枚
一木所デテ七百以上八百
一時間日當ヨリ点火レテ翌朝至ル
一更ニ翌日マテ点火レテ一月十窓
一燃料 松薪(石炭イテ経斷ナリ)
一材料 場合一カマ(内半九五二四安
一一度ニスルカ二度ニスルカ焼ク。



	内画	内文	Mansion	高さ	
大塚	(65)	in. 6. 6. 6. 6. 6. 6.		58	(70)
後庄	(50)			63	(50)
内田	(70)			84	(70)
五原	(75)	in. 7. 6. 6. 6. 6. 6.		73	(75)
竹内		新築		72	
久野	(75)	clashy. 6. 6. 6. 6. 6. 6.		67	(75)
池田	(80)	65.		77	(70)
山田	(50)	in. 6. 6. 6. 6. 6. 6.		53	(50)
養牛	(70)	city. 6. 6. 6. 6. 6. 6.		80	(75)
滝川	(80)			72	(75)
栗打	休	空		43	

日光

●本宮(大吉貴命)

一拜殿

一唐門

一玉垣

一本殿

以上将来同全ニテ修繕の見込

●四水龍寺(金剛山)

一三重塔 將來全同ニテ修繕の見込

一木堂(白木) (本尊観音) 三間四方四注

一事務所(白木)

勝道上人始メテ庵ヲ結ナリ

●輪王寺

一鑽仏堂

一祖師堂(合同ニテ修繕済) 及供所

一表門 (最古ノ建築ナリ)

一相輪壇

東照宮

○一の鳥居

元和四年戊午四月十七日

黒田祐前守藤原長政

○燈籠一對

慶安四年

有馬忠頼

○五重塔

○石燈籠一對

寛永十八年 酒井忠勝(若狭)

○仁王門

○石燈籠一箇左

元和三年丁巳四月十七日

○右側

元和三年丁巳 石

元和五年 木

寛永十七年 木金

左側 寛永十七年 木金 一對

元和二年 石

寛永九年 木

元和八年 木

元和二年 一本

元和三年 一本

元和三年 二本

元和二年 對金

慶安元年 對

寛永九年 對

寛永十年 對

寛永十八年 對金

三神尊

神廐

手水舎

銅鳥居

輪藏

南雲鐵燈の一對

伊達政宗

鑄師仙臺往人早内弥兵衛

元和三年丁卯月十七日

仙臺宰

藤原朝臣政宗

朝鮮ノ鐘

崇禎壬午十月日朝鮮國祀曹參判
李植撰

行司眞、吳峻書

● 置上ケ彩色ニ對シテ平彩色ト云ふハ
盛ラ上ケニ法アリ

● 拉彩色仕樣

一 中泥
綠青ハツ縁又駄縁ト具輪粉膠ヲ
胡粉ヲ泥シテ塗ル

二 肉別
胡粉、膠、丹、若、ハ、朱

三 カタ村

四 置上

胡粉、膠、可成古キシンセルモノ

五 箔、粘膠、膠ヲカケテ押サレ、(粘膠ヲ先ニ)

六 淡色ヨリ漸ク濃色

埋塔ノ經鋪ナラサルモノヲ云フニ度乃至

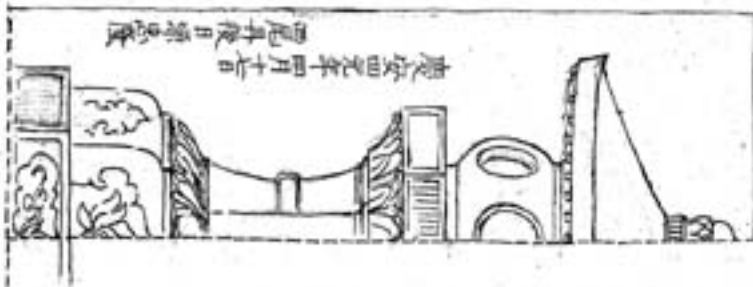
ニ度ニ仕上ル

● 活正彩色ハ

ホカシニシテ金色ニ殘サ法

拉彩色並普通模樣一尺四方ニ入以上、凡テ

五円ヨリ七円まで



慶安四年四月十日
尾井後日景忠實

● 妻笠
 倉笠若ノ輪廊ヲ塗リ殘ス

● 大猷院 (命日四月二十日)

● 仁王門
 門前石橋分欄作ヲ出シ

● 神庫

● 水舎

● 二天門 表、廣目、持国
 裏、風伯、電公

● 鼓樓

● 鐘樓

● 夜叉門

● 金蓮池一對

承應二年癸巳四月二十日

仙基少將藤原朝臣忠宗

鑄成御金屋

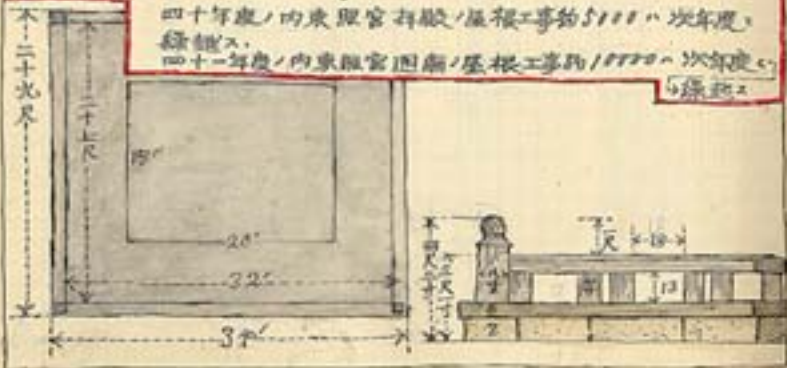
掘山城清光作

伊波	14450	800	13650
西郭	17800	1100	16700
寺跡	16600	900	15700
東野	13700	1000	12700
大正	14300	1100	13200
新田	17200	1800	15400
中野	14360	810	13550

日光大佛指年度別工費支出表

年度	大佛指	合計
40	54127,005	(18513.659)
41	46342,851	(4613.817)
42	27306,998	(2919.903)

四十年度ノ内東照宮拜殿ノ屋根工事約5111ニ次年度ノ
 繰越入。
 四十一年度ノ内東照宮回廊ノ屋根工事約1872ニ次年度ノ
 繰越入。



日光大佛指
 唐門 屋根
 手小舎 屋根
 敷石
 彩色
 明治四十年 四十二年 四十二年



大阪府下泉南野西葛城村
木積村観音堂



○成績

1 敷地ハ分ニ会場面ヲケレモ才ニ会場ハ失
敗セリ
2 設備ハ

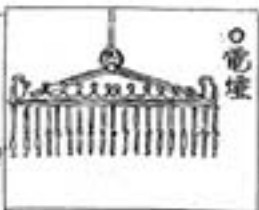
3 建物ハ比較的ヨク各スタイルを見ルハ尤モ
可ナリ
4 出品物件ハ不満日足ラ建築団按ノ見
ルハナクモ材料ニ格別ナク只正當
ノ進歩ヲ居ルヲ認ムヘシ彫刻繪画ハ

5 陳列法ハ西替ナク壁ニ推定セリ
視察ノ便ナク陳列欄ハ大ニ進歩セリ
木材ノ家トシテ見セタリドコレ
諸材料ヲシテ更ニ用セリ形トシテ
見セリ可ナラン
6 要スルニ正當ノ進歩ハアリ夫レ以上ヲ望
ムハ機ヲ得テ尙モ望ムカハ平

將來ノ希望

前章ノ獨チタル欠点ハ補スベシ
世ハ進歩シテ止マズ自ら欠点ノ補ハシ
夫レ以上ヲ發展セシメ

○電燈

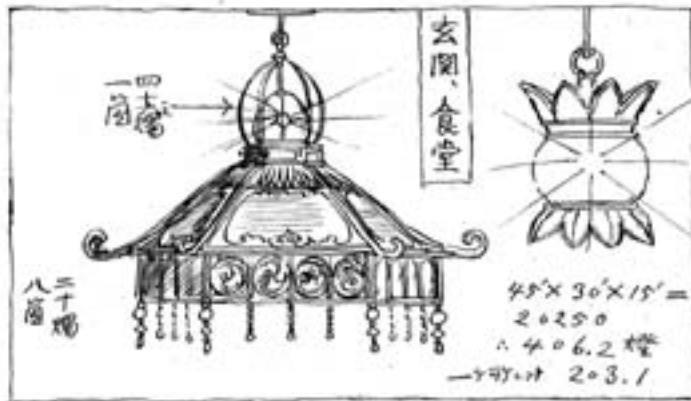


○建具



○椅子卓子





食堂 (五十二層、六層)

一層、二層、三層、四層、五層、六層、七層、八層、九層、十層、十一層、十二層、十三層、十四層、十五層、十六層、十七層、十八層、十九層、二十層、二十一層、二十二層、二十三層、二十四層、二十五層、二十六層、二十七層、二十八層、二十九層、三十層、三十一層、三十二層、三十三層、三十四層、三十五層、三十六層、三十七層、三十八層、三十九層、四十層、四十一層、四十二層、四十三層、四十四層、四十五層、四十六層、四十七層、四十八層、四十九層、五十層、五十一層、五十二層、五十三層、五十四層、五十五層、五十六層、五十七層、五十八層、五十九層、六十層、六十一層、六十二層、六十三層、六十四層、六十五層、六十六層、六十七層、六十八層、六十九層、七十層、七十一層、七十二層、七十三層、七十四層、七十五層、七十六層、七十七層、七十八層、七十九層、八十層、八十一層、八十二層、八十三層、八十四層、八十五層、八十六層、八十七層、八十八層、八十九層、九十層、九十一層、九十二層、九十三層、九十四層、九十五層、九十六層、九十七層、九十八層、九十九層、一百層。

○ 突殿碑鉄考 史稿
△ 支那仙樂史稿
◇ 支那文學史
□ 支那思想史



車寄

$18 \times 18 \times 15 = 4860$
 $\therefore 48.6 \text{ Aug } 50 \text{ 燈}$
 Factor 2 $\therefore 100 \text{ 燈}$
 $100 = 6 \times 16$

電燈
 百五方尺、任一燈
 十六燭光六箇



中殿ノ間、
 大階段前通ノ間、
 喫煙室、電燈、
 龍天井ノ中心、

三間四方
 三間四方
 三間四方
 四間半

① 文取碑銘考 史子能塔八編十一冊
 白石博士
 ② 文部仙塚史綱 酒井
 ③ 文部文書史
 ④ 文部忠志榮達文

電燈
 一燈(十六燭光)一月内十八支
 一アニアア一吋半即十六燭光三吋半
 三支也

S. Yano.
 35-37
 West 23rd Str.
 near Broadway
 New York
 U. S. A.

- 友同中代表
 麻布区赤坂町二丁目七十四番地
 大工 鈴木公方
- 松尾友士
 芝罘南町四十二番地



中段ノ間
 大階段前通ノ間、三間四方
 喫煙室電燈、三間四方
 龍天井ノ中心、三間上
 三間半

車窓 九五尺高三尺五寸

玄階 八角五尺高四尺

脱帽 八角四尺五寸南高三尺

和室 六角四尺五寸内高三尺

中段溜瓦 四尺 高三尺

通_二間_一柱_カ付

通_二溜_一瓦 五尺 高三尺五寸

階段 八稜四尺高二尺

便所前通 柱_カ付

婦人脱衣_二天_一板_二又_一寺 高一尺

大廊下 雲_二瓦_一三尺 高一尺 四_ノ所

食堂 八角_二又_一寺 高四尺五寸

吹煙 花形四尺 高二尺

燈房 菱_二菱_一三尺 高一尺五寸

階坐敷 燈_二電_一形 四尺 高三尺

全_二次_一ノ_二宮_一 全 上

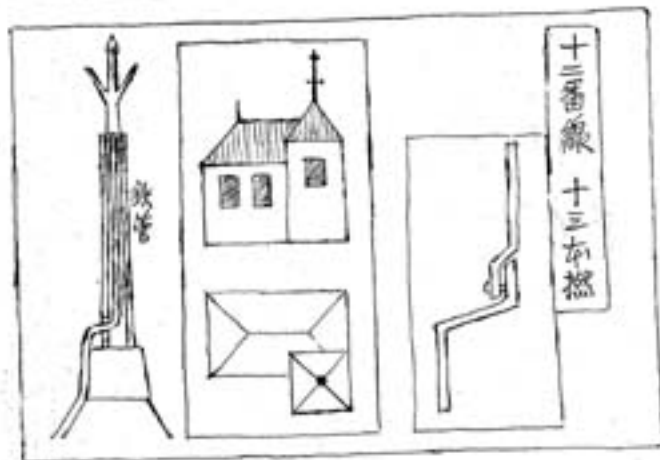
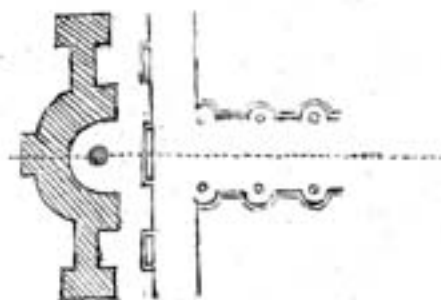
全階_二暖_一通_二瓦_一 四尺五寸 高二尺五寸

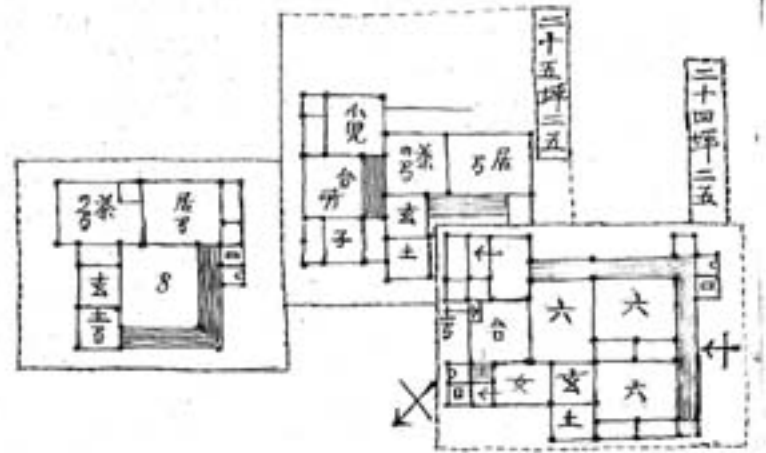
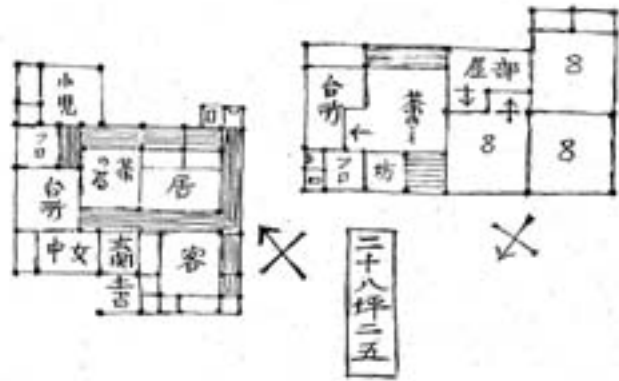
頁	Plan	Edo	Det	結	結
78	73	73	76	80	78
74	75	75	75	73	74
82	82	84	82	85	80
73	72	73	70	70	72
80	80	82	78	75	78
74	75	76	73	73	77
77	78	78	77	78	74
73	75	75	73	74	73
71	73	74	72	73	73
74	74	76	74	72	73
65	70	70	70	70	70
74	74	76	73	75	74

二何れ見へず
 三午後四時長途の着(上等三十六円)
 門司四日目の午前八時着
 神戸上船の(郵船会社)
 安平の和蘭古城址
 甚南 龍成功の陳示
 甚北 劉永之氏の御宅更あり

甘藷湾旅館
 朝陽號 一等付通不可 中食附三三円
 日免館 二等付通不可 二円位
 南洋館 三等付通不可
 香港 厦門 汕頭 淡水 旅 各週一回
 淡水 甚北 三時着
 甚北 人力五五五
 甚北 甚南 一時着
 内地通 長崎 寄 船 或は 門司 直航
 一 甚南 登 午後 四時 三時 着 島 空 占
 (アインツル島)

上棟式当日	
祝儀	三円
榎代	五円
打子	二円五十文
大工	二円
石工	二円
小工	一円
酒科	五元
技師一人	五元
技師三人	五元

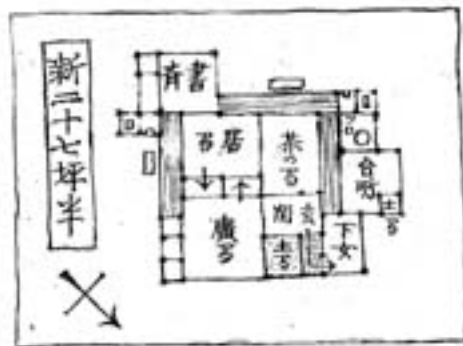
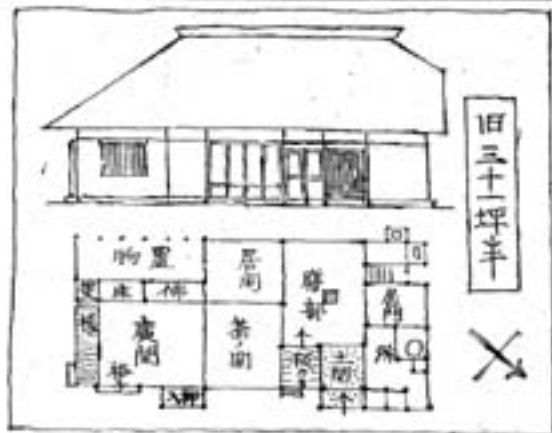






$17.5 \times 45 = 787.5$
 $20.5 \times 40 = 840$

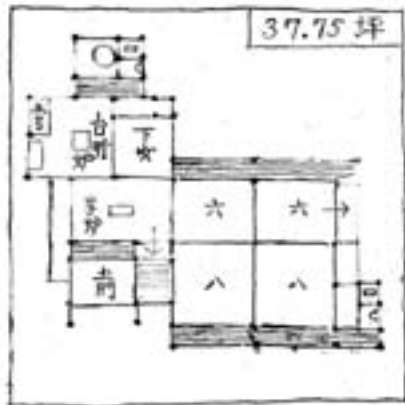


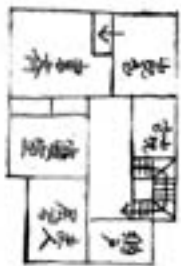
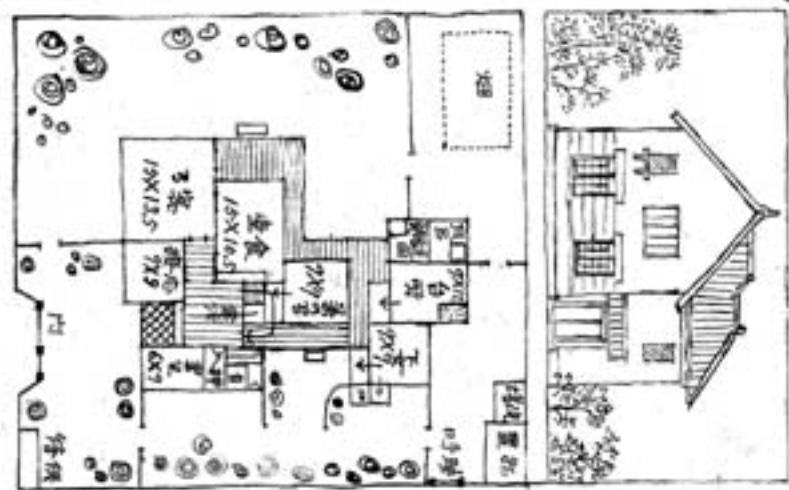


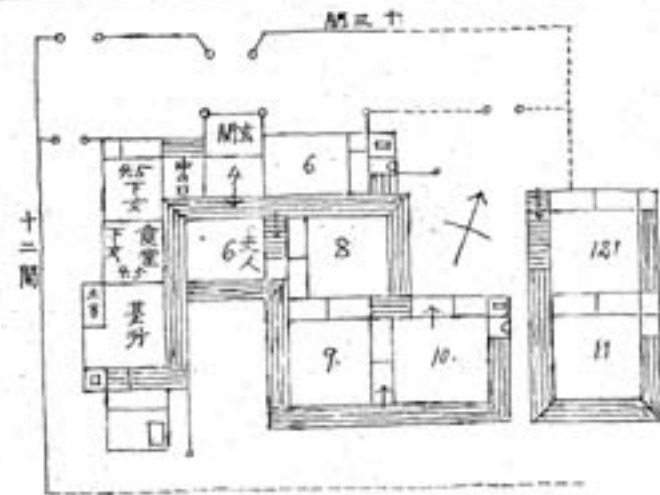
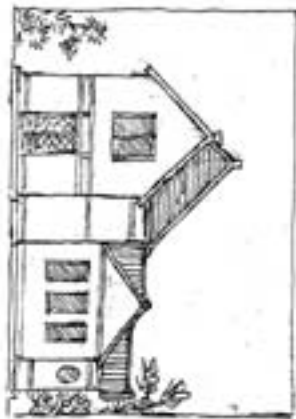
一坪 四三十五円トシテ 卅九坪ナレバ
 一三六五、
 一坪 四十円ニテ 卅三坪ニ合テ五ク
 一三百三十円、

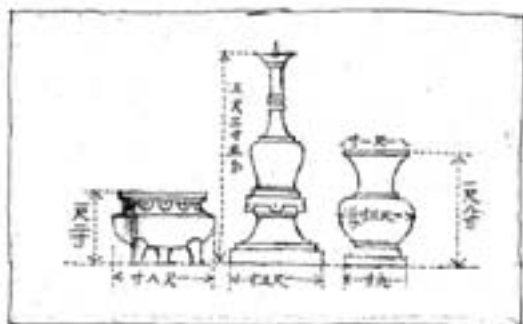
- (増)
1. プラン細カクシテ
多敷ノ費ス点
 2. 多少地形ノ小屋ヲ
懸カス
 - 3.
- (減)
1. 柱細ク立テ柱ノ
大ヤテ減シ得
 2. gable止マテ妻ノ
手法ヲ減ス
 3. 屋根ノ配及出
る減ス。

一 プランに於て約一割五分ヲ減ス
 一 方形屋根にして妻ノ手法を省き
 材料ヲ省ク
 一 小屋ノ材料ヲ省ク
 一 柱多クナリ壁多くありテ柱細クシテ
 丈丈とある、








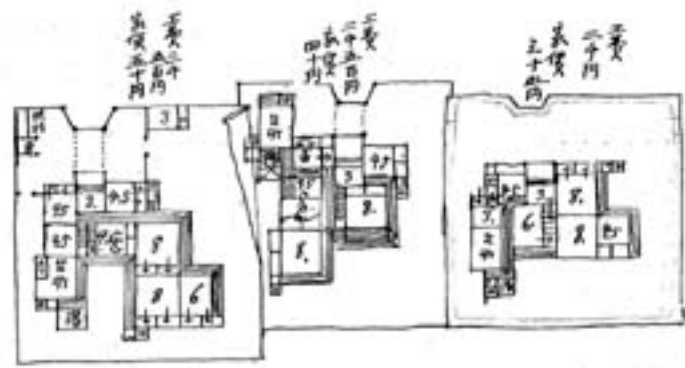


●高田
 屋上制限行きつゝの難あり

●新潟
 明治四十一年三月三千余戸(南北)
 九月二千余戸(西南)
 屋上制限焼ケザルモノ及ア
 中區改云実行
 (瓦)のフキキは不可熱々燃ヘズ
 北海道ノ安例

十二天 (十二方位司)

1 Indra	帝天
2 Agni	火天
3 Isana	夜摩天
4 Rakas	夜摩天
5 Varuna	水天
6 Vayu	風天
7 Vishana	毘沙門天
8 Isana	伊舍那天
9 Brahma	梵天
10 Kṛtya	作天
11 Sūrya	日天
12 Chandra	月天

津田先生の遺稿は至りて
其遺稿は其遺稿は其遺稿は
嗚呼先生

其遺稿は忠実にして其職務に勤
勉盡せり定評ありて其遺稿は
其遺稿は其遺稿は其遺稿は

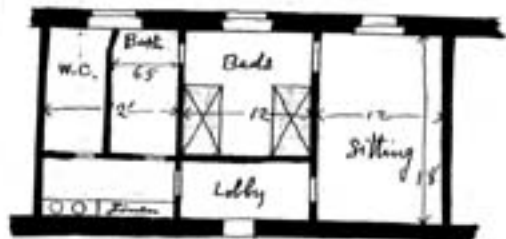
其遺稿は其遺稿は其遺稿は
其遺稿は其遺稿は其遺稿は
其遺稿は其遺稿は其遺稿は

其遺稿は其遺稿は其遺稿は
其遺稿は其遺稿は其遺稿は
其遺稿は其遺稿は其遺稿は

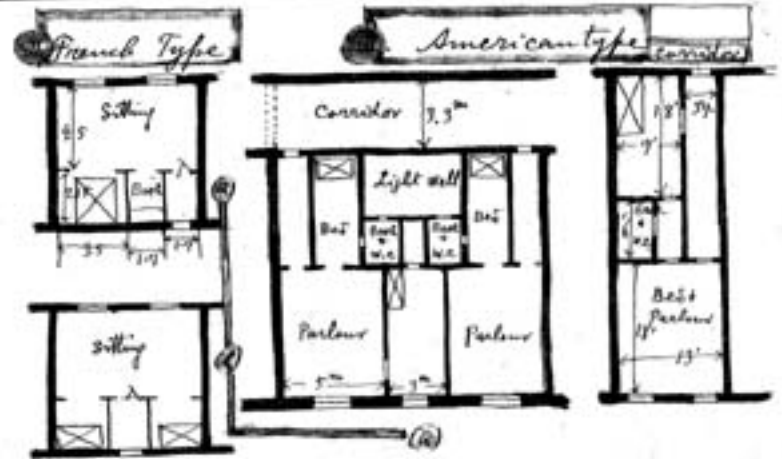
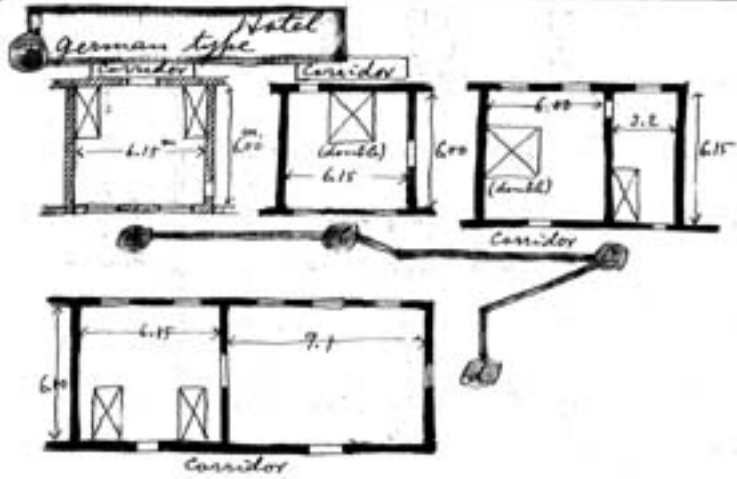
嗚呼我の恩布木子先生遊ケリ先生は
家也く京都の番匠あり
先生亦た父祖の衣鉢の藝を磁磚吹磨
新設障壁を形意の激支に留りて我邦
有る建築師を古略に墮落に導きしを
恨む。先生即ち起りては藝術界に
我々の大光輝を照らし給ふべし
明治三十一年四月二十四日 藤田 謹啓

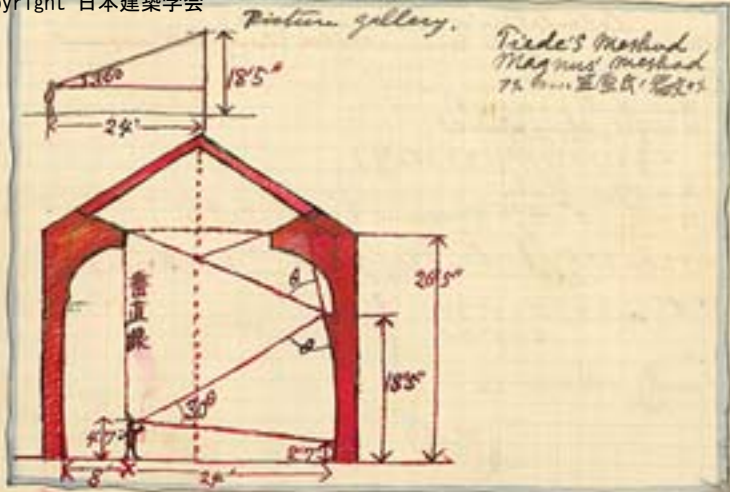
先生は京都の番匠あり
先生亦た父祖の衣鉢の藝を磁磚吹磨
新設障壁を形意の激支に留りて我邦
有る建築師を古略に墮落に導きしを
恨む。先生即ち起りては藝術界に
我々の大光輝を照らし給ふべし
明治三十一年四月二十四日 藤田 謹啓

先生は京都の番匠あり
先生亦た父祖の衣鉢の藝を磁磚吹磨
新設障壁を形意の激支に留りて我邦
有る建築師を古略に墮落に導きしを
恨む。先生即ち起りては藝術界に
我々の大光輝を照らし給ふべし
明治三十一年四月二十四日 藤田 謹啓



Exit:
 Hamburg — 200 人 1 出口 — Exit
 Hamburg — 100 人 1 出口 3'3" Exit.
 Austria — 100 人 1 出口 clear 2' 出口. — 100 人 1 出口
 4'12" x 9'8" 出口.
 2 300 人 2 出口
 500 人 3 出口. 4c.
 Staircase
 400 人 4'6"
 100 人 6' 出口.





Wind pressure
地上 50' 風速 43.5 m/sec. 地上 70' = 70 m

$$V_{in 70'} = \left(\frac{h}{50}\right)^{\frac{1}{4}} V_{in 50'} = \left(\frac{70}{50}\right)^{\frac{1}{4}} 43.5 = 47 \text{ m/sec.}$$

$$\therefore \frac{(47)^2}{37} = 60 \text{ kg/m}^2$$

$$P(\text{normal}) = p(\sin \theta)^{1.8} \cos \theta - 1$$

$$\theta = 30^\circ \quad p = 60 \text{ kg}$$

$$P_n = 40 \text{ kg per sq. ft.}$$

Wind pressure.

$$P = \frac{3v^2}{37}$$

P = Horizontal Pressure in lbs. per sq. ft.
 v = velocity in meters per second.

29.3 m/sec = 最大風速 38 meter (11.2 m/sec = 最大風速 + 19 = 最大風速)

$$P = \frac{38^2}{37} = 73.2$$

Normal pressure is $P_n = P(\sin \theta)$ $\theta = 30^\circ$ true

$$P_n = P \times .663$$

$$= 73.2 \times .663$$

$$= 25.69 \text{ say } 29 \text{ lbs/sq. ft.}$$

Lead load

slate 8 (16/16)	snow 20.
felt 1/2	brushing (thin) 2.
roof board 2.	ceiling lath 1/2
gypsum l. 3.	plaster, finish 1/2.
Timber roof 3.9	

Calculation of Common Rafter,
 taking the wt. of the rafter itself into account.
 dead load 3 lb.
 live " 27.

$$W = d.l.(p + w \cos \theta)$$

$$M = \frac{1}{2} d.l.(p + w \cos \theta)$$

$$= \frac{1}{2} \times 15 \times (75)^2 (29 + 36 \times \frac{\sqrt{3}}{2})$$

$$M = 571 \text{ ft. lbs.}$$

$$M = \frac{1}{8} S^2$$

$$S = \frac{2.82}{6} \text{ assume } h = 26. \quad S = \frac{4.81}{6}$$

$$571 = \frac{4 \times 6^2 \times f}{12 \times 6} \quad h = \frac{571.2 \times 12 \times 6}{4 \times 500} \quad \text{pinewood } f = 8000 \text{ psi}$$

$$6^2 = 1.33 \quad h = 2.37$$

$$h = 4.74$$



pitch 10/12 = 7.5/10.



Roof Truss

data.

span = 30'
 h. of roof board = 3 3/4"
 n. of roof boards (26) 8 1/2"
 n. of common rafters 2 1/2"
 n. of purlins 2 1/2"
 wind pressure on roof 43.2/lb
 normal wind P. 4.1/lb
 size of span = 16'

tamb = $\frac{16}{12} = 97^\circ$ $\theta = 97^\circ$

Common rafter

normal force on the common rafter

$T = dxL(p + w \cos \theta)$

$L =$ distance from C.B. 3.

$w =$ normal force

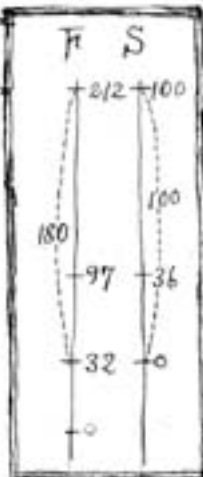
$p =$ normal wind pressure on No. 2

$w =$ dead load 100 - 190/lb


$\theta =$ angle of pitch

$L =$ distance from center
to center of purlin

$w = 1.5 \times 5 (41 + 17 \cos 97^\circ)$
 $= 1.5 \times 5 (41 + 19 \times 6.6291) = 317.635$



点
 数
 報
 告
 期
 三年生 六月二十五日
 二年生 一年生 六月三十日
 松室 成員
 大連ノ方ニ授手希望

Calculation of Floor beam
 Live load 75 lb/sq ft
 W.C. 200 lbs
 W. of ceiling 100
 Total load 150 lb/sq ft
 L = span 20'
 distance of beam from C. = 4'
 W = distributed wt. per foot run
 150 x 2 = 600 lbs per foot run
 ∴ The beam is supported at both ends & uniformly loaded.
 ∴ Max. B.M. bending moment = $\frac{1}{2}wl^2$
 $= \frac{1}{2} \times 600 \times 20^2$
 $= 30000 \text{ lb. ft.}$
 $= 360000 \text{ inch lbs.}$
 Mo of (20 inch factor for area working stress)
 ∴ for steel, the ultimate breaking stress = 64000 lb/sq
 factor of safety = 4
 ∴ safe working stress of steel = 16000 lb/sq
 $\frac{360000}{16000} = 22.5 \text{ in}^2$
 ∴ From Carnegie's pocketbook, B. 12




	第一歩目	第二歩目	第三歩目	第四歩目	合計	平均		
○ 彦野	70	90	160	80	80	160	320	80.0
○ 上野	60	68	128	68	68	136	264	66.0
○ 中山	60	70	130	83	83	166	296	74.0
○ 山王	65	70	135	70	70	140	275	66.3
○ 山王	60	75	185	65	65	130	235	58.8
○ 山王	70	75	185	70	70	140	265	70.6
○ 山王	60	65	125	75	75	150	275	68.8
○ 山王	55	70	125	55	55	110	235	58.8
○ 山王	75	60	135	—	—	—	135	—
○ 山王	30	60	70	60	60	120	210	52.5
○ 山王	70	60	130	80	80	160	270	72.5
○ 山王	80	80	160	98	98	196	376	94.0
○ 山王	65	75	140	78	78	156	276	74.0
○ 山王	70	85	155	75	75	190	345	86.3
○ 山王	50	50	100	65	65	130	230	57.5
○ 山王	60	70	130	80	80	160	270	72.5
○ 山王	60	70	130	76	76	152	282	70.5
○ 山王	60	65	125	72	72	144	267	67.3

昭和四十年六月末潤
園傳圖所表

高橋孝忠大造工部大造(年三三)
 高橋吉作大造工部大造(年三三)
 送比史依臨鳴叱(年三三)
 伊路吉古比丁保存分新製(無)
 在上古比丁保存可画鳴叱(無)
 棚末新鳴叱(年三三)
 甚清信實白建委忍常(年三三)
 浅野總一郎中級工部大造(年三三)
 入留連貴氏即工部大造(年三三)
 藤田境設計(年三三)
 大連西古比丁別院設計(年三三)
 南御伯制像(其古設計(年三三))
 建築學分編解
 日本建築史綱要稿
 上巻卷七(百餘軒)東京(無)
 高橋孝忠大造(鳴叱)
 本圖與傳子御堂(相共)



Tuljapur. (Hindoo)

a town on the borders of the Hyderabad territory
27 miles on a straight line N.N.W from Solapur
about 30 m. S.E. from Basri.

Sharabimva (Buddhist?) (Hindoo)

about 12 m. N. of Tuljapur & 24 m. W by S from Basri



Karusa (Hindoo cave)

Nilnaga (Chalkyan temple)

Kalyana (?)

Narayanpur (Chalkyan,
a little south of Sitapur.

Bidar (Saracenic)

30 m. N.N.E from Unnabad.

Mominabad (Chalkyan)

Jagai Amba & Surba Jagi 45 m. N.W. by S.

Paithan or Mungi-paithan (Saracenic)

Sankhed (Jain cave).

Surangabad

(Buddhist)

Indian archaeological survey:

Sivalli. (Vimala, Jeweller) (Hindoo & Jaina)
a village on the banks of the Malpraba

Undavalli
on the banks of the Krishna

Pattadhal about 9 miles East by south. from Badami
on the right bank

Badami (Hindoo & Jaina)

Isili large temple of Parvatalinga. (Jaina)
(Tharner style?)

Kontir. Large temple of Mahalingaswara. (Hindoo)

Belzgam. Jaina Temple (Chalukyan style?)

廿七日 横濱 二時中 乗
 赤橋 中着 二時五分
 麻布市 兵衛町 二十日
 七十四番地
 大江
 東松方
 吉岡千代吉

東中市神田區夏土代町三丁目
四番地大島松次郎方
庄司富助

南輪南町
四十二番地
松尾吉士

麻布中兵衛町三丁目
七十四番地
大工東松方
吉岡千代吉

安藤敏碗



支那仏史綱

支那思想發達史

支那文學史

松本	明治四十五年 1300 円
沼津	大正二年 2000 円
函館	大正六年四月 2000 大正二年五月 1000 大正五年八月 2000

天野	75
志村	75
河村	85
松井	70
南	85

一燈十六燭光 一月一円八十五錢	メイトル 一アバナー一時間 一十六燭光二時間 三錢
--------------------	------------------------------------

屋張町
二丁目二番地
林屋

水挽町二丁目
十三番
水明館

桑名町字八幡
瀬古本方
北寺惣松

明治三十九年より四十年

家の作り様

51

中五十五

家の造り様は、百文をむねとすべし。冬は、いかたる所にも住まる。夏をこ頃、わろき住居は堪へ難きことなり。深まれば涼しげなし。浅くと流れたるは、けるかに涼し。こまかき物を見るに、やり戸は、**蔀**の向よりあかし。天井の直向まは、文と窓をく、灯とらし。造作は、**用**たる所を作りたる、見るもあま白く、よろづの用にも正ちよし。し。もぞ。人々士だのあひ侍りし。

Copyright 日本

